



International Year of the Periodic Table of Chemical Elements

国際周期表年  
2019

30 YEARS  
大阪市立科学館

# 国際周期表年 2019特別展

The International Year of the Periodic Table 2019: Special Exhibition

会期 2019年10月5日(土) ▶ 10月27日(日)

会場 大阪市立科学館 展示場4階

観覧料 無料(ただし展示場観覧料が必要です。大人400円/学生(高校・大学)300円/中学生以下無料) 開館時間 9:30~17:00(展示場の入場は16:30まで)

本特別展期間中の休館日: 10月7・15・21日

企画・制作



公益社団法人日本化学会  
国際周期表年実行委員会

後援

文部科学省, 日本ユネスコ国内委員会

主催

大阪市立科学館

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1  
TEL: 06-6444-5656

<http://www.sci-museum.jp/>

大阪市立科学館 検索



In support of



International Year  
of the Periodic Table  
of Chemical Elements

|                   |                    |                      |                     |                      |
|-------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|
| I<br>53<br>Iodine | Y<br>39<br>Yttrium | Pt<br>78<br>Platinum | Ca<br>20<br>Calcium | K<br>19<br>Potassium |
|-------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|

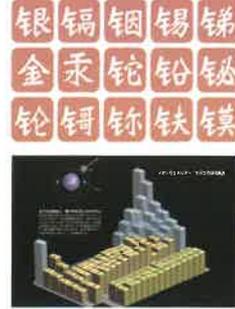
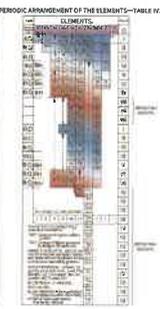
画像提供:  
東北大学史料館  
理化学研究所仁科加速器科学研究センター



# 巡回展「国際周期表年 2019 特別展」みどころ

## 1 豊富な周期表資料を迫力あるAOフレームパネルでご紹介！

原初の元素一覧から最新の周期表まで、周期表の発展や進化をたどる。美しい、楽しい、役に立つ！細かく見れるからさらに楽しい。周期表の魅力余すことなくご紹介。



## 2 日本人研究者の発見、日本の科学技術がわかる！

地上の元素利用で私たちの暮らしは成り立っている。私たちの生活を豊かにする未来物質の発見に挑戦し続ける科学者・技術者の知性と発見を知ろう。



## 3 元素発見鉱物で先人の叡智を学ぶ！

目に美しい鉱物で、地球が育んだ元素の組合せや発見した科学者の活躍をイメージするのも楽しい。



## 4 日本人周期表作家たちの最新でユニークな周期表を味わい尽くす！

周期表は編者の視点とセンスで千変万化。日本で活躍する周期表作家たちが教える周期表表現の無限の可能性に触れよう。



## 5 周期表と元素の科学が楽しくなる体験装置がいっぱい！

科学興味の入口になる簡単な実験から、科学者もうならせる不思議実験まで、体験装置で元素の世界を楽しく学習できます。



国際周期表年 2019 特別展講演会を行います。たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

◆開催日時

2019年10月22日(火・祝)  
13:00 ~ 16:20

◆講演時間と内容

①13:00 ~ 14:00

『一家に1枚元素周期表』に込めた思い

講師 玉尾 皓平氏

(国際周期表年実行委員長)

文部科学省が2005年に発行した「一家に1枚元素周期表」の制作者がその思いを語り、元素の利用について紹介します。

②14:10 ~ 15:10

「ニッポニウム小川正孝の新元素」

講師 久松 洋二氏

(愛媛県総合科学博物館 専門学芸員)

日本人で初めて元素を発見したといわれた小川正孝。実は、発表していた元素とは異なる新元素だったため、惜しいところで新元素発見の栄光に預からなかった化学者について紹介します。

③15:20 ~ 16:20

「周期表を毎日の生活に生かそう！」

講師 桜井 弘氏

(京都薬科大学名誉教授)

周期表の眺め方を、メンデレーエフの考え方に沿って具体的な例を挙げて解説し、メンデレーエフがなぜ周期表を作れたか、また、人と元素の関係について紹介します。

◆実施会場

科学館地下1階研修室

◆対象、定員、参加費

大人~中学生

80名(当日先着順)参加費無料

その他、大阪市立科学館オリジナル展示「周期表」「元素の利用」、宇田川 榕庵著「舎密開宗」の展示もご覧ください。期間中実施しているサイエンスショー「電池がわかる」では、銅・亜鉛・アルミニウム等の元素が活躍します。

大阪市立科学館 OSAKA SCIENCE MUSEUM 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1 電話 06-6444-5656

開館時間 9:30 ~ 17:00 (展示場の発券・入場は16:30まで/プラネタリウム最終投影は16:00から)

本特別展期間中の休館日 10月7・15・21日

観覧料、プラネタリウム等その他については、大阪市立科学館公式ホームページ <http://www.sci-museum.jp/> をご覧ください。